

代替・相補・伝統医療連合会議（JACT）「医療と宗教の接点～スピリチュアリティを
考える」2006、12、9

【スピリチュアルケアからみた医療と宗教】

大下 大圓 〒506-2135 岐阜県高山市丹生川町下保 1553 Tel 0577-78-1021 Fax
0577-78-1028

飛騨千光寺のHP:<http://http://daien.senkouji.com>

daien@senkouji.com

高野山大学客員教授// 飛騨千光寺住職//NPO 法人日本スピリチュアルケアワーカー協会副会
長//高桑内科クリニック・スピリチュアルケアワーカー//地球人ネットワーク飛騨代表//日本ホスピス在
宅ケア研究会スピリチュアルケア部会長

- 著書 - 「癒し癒されるスピリチュアルケア～医療、福祉、教育に活かす仏教の心」医学書院
「いい加減に生きる」(講談社) 「がん患者の住宅医療」(共著)「今考える高齢者医療」(共著)
ほか

1) スピリチュアルケアとは

WHO (世界保健機構) 憲章の健康定義修正変更(1998/6月の理事会で採択)

“Health is a dynamic state of complete physical, mental, spiritual and social well-being

and not merely the absence of disease or infirmity.”

「病気や疾病の不在のみならず、身体的、精神的、社会的、およびスピリチュアル的に健康な力動的状態」

(霊的、たましい的、心性的、実存的、宗教的の訳語=人生の意味)

WHO (1998) スピリチュアルとは「肉体のほかに別に精神的実体として存在すると考えられるもの」と

「人間の身体内において、その精神・生命を支配すると考えられている人格的・非肉体的な存在」

QOL(生活の質、生命の質、人生の質)の向上

quality of life を満たすもの=医療、福祉、保健、宗教のはたす役割の再考現代医療福祉の概観

2) 機械論的医学モデルからホリスティック医療へ

二元論と一元論の生命観について

- ・ 医聖ピポクラティスからデカルトそして近代医療～機械論的医学モデル
霊肉二元論(神と人間の距離)～一神教的生命観
- ・ 神(仏)と人間は同じ・山川草木悉皆成仏～多神教的生命観

バリアフリーからユニバーサルデザインへ

3) 仏教的ケア論

古代インドの思想からの系譜

「梵我一如」という宇宙と我とは 一体とするウパニシャッド哲学

アーユルヴェーダー=Ayurveda インドの伝承医学～ 釈尊は帝王学として生命科学、医学（医方明）を学ぶ

インド=ビハ-ラ (Vihāra)僧院、安らぎの場ホスピスと同義語

仏教看護の歴史 = 「慈悲の実践活動」

釈尊の言葉 律蔵「小品」 「修業者らよ、我に仕えんとするものは、病者を看護せよ」

祇園精舎の西北隅に「聖人病院、仏示病院、無常院」 重症病者は「重病閣、涅槃堂」へ収容され、その堂内中央には、仏像が安置され、病者はその仏像の背後に寝かされる。そして手厚く看護されつつ、病者は堂の中央に祀られて仏像から伸びた旗の竿を握って、さながら仏に導かれて極楽浄土に参る思い

ビハ-ラの機能（役割）(十重毘婆舍論)

- 1 - 病者に供給す
- 2 - 病者のために医薬の具を求む
- 3 - 病者の為に看病人を求む
- 4 - 病者の為に法を説く 他

4) 中国仏教 悲田養病坊 仏教經典にみるケア論

唐代の則天武后（BC 690）によって各州に建立された

大雲寺には、孤児や孤老を収容する「悲田院」や疾病者の治療と医薬を施す「養病院」の設

置が義務づけられた

「金光明最勝王經」には、医師の訓戒「梵網經」「摩訶僧祇律」「十誦律」には、看病人の心得が説かれ、

看病することの徳が記述され、病人には慈悲と誠意をもって接し、食物と病気の関係をよく知ること

「佛説佛医經」「佛説除恐災患經」「佛治身經」「摩訶止觀」「仏説諸徳福田經」

5) 日本仏教におけるケア

推古天皇三年（595）に四天王寺に四箇院制度を創建、「医疾令（いしちりょう）」（養老2年＝718）が布かれ、典薬寮において僧による医療が行われ、看病比丘（僧）や看病比丘尼は、病気の治療だけではなく、病気の治癒を祈祷することも看病として行っ

ていた。養老7(723)年には、興福寺に「施薬院、悲田院」がおかれ、その後法隆寺にも「療病院、敬田院」などが建てられ、そこで病人が手厚く看護されたと伝えられている

聖徳太子の功績 ~ 維摩経(大正大蔵経) ケア論の原点

「衆生病む故に我(菩薩)もまた病み衆生病 癒ゆれば我(菩薩)もまた癒ゆ」

「愛見の大悲」を超えること ~ 平等と支えあう関係論

6) 平安時代においては、「施薬慈院、崇親院、延命院、曲殿」が設置

空海は「秘蔵宝鑰」のなかで、病気には身病と心病の2種類があるとして、「身病を療するには医人と方経と妙薬の三法に、心病を療するには仏と教と理の三法」が必要であるとして、身体面と精神面の癒しには仏の加持力が有効であるとしていました。

鎌倉期頃から浄土思想の広まりとともに、病人を救済すること行為とされ、「無常院、往生院」などでは回復不能な病人を仏の真言や念仏を唱えて、安らかな臨終場面を設定するなど、仏教的なターミナルケアが施されたことが「往生要集」に記されています。(往生要集、臨終行儀など)

7) 密教のケア論

密教福祉思想のスピリチュアルケア

- ・自利利他思想、六大思想、四種曼陀羅思想、共利群生思想、
- ・三密加持、五相成心観、入我我入など

8) トランスパーソナル心理学との関連性 心の階層・覚り(宇宙的真我)

仏教の唯識論=ユガ行唯識派(1600年前)

トランスパーソナル心理学=多層の意識 近代的な個の感覚(パーソナル)を内に残しつつ、より包括的に超え出た感覚(変性意識状態) 救済の視点

密教では秘密曼荼羅十住心論(秘密莊嚴心)に心の変容意識を説く

9) スピリチュアルケア実践活動への動き

アメリカ CPE(臨床牧会パストラルケア教育)の日本移入 スピリチュアルケア研究所
仏教大学 仏教看護コース(廃止) 浄土真宗本願寺派、ビハーラ研究会 仏教看護・
ビハーラ学会

日本ホスピス在宅ケア研究会 スピリチュアルケア部会 高野山スピリチュアルケアワ
ーカー養成講習会

NPO法人日本スピリチュアルケアワーカー協会 //

高野山大学スピリチュアルケア学科 18年度開講 ~ 和歌山医科大学との連携